

## 三田市

### 基礎情報

【人口】 112,691 人 【世帯】 41,070 世帯（平成 27 年国勢調査より（総務省））

### 【母子・父子世帯数】

母子・父子世帯数 505 世帯（母子世帯 435 世帯、父子世帯 70 世帯）

（三田市統計書 平成 27 年版（平成 22 年国勢調査）より）

### 概要

○個室相談室の設置や相談カウンター近くに子どもの遊び場となるスペースを用意するなど、相談者が相談しやすい環境作りをしている。

○三田市ひとり親相談窓口強化事業の一環として、平成 26 年 10 月より、ひとり親相談管理システムの導入を行った。システム導入により、これまで紙帳票で管理蓄積されていた情報が電子化され、情報管理や情報共有においての利便性が向上した。さらに、本システムは市の住民基本台帳とも連動しているため、転居情報等、最新の情報を把握することが可能であり、今後の支援に向けた方策を検討しやすくなっている。

○三田市及びハローワーク三田が主催する合同就職面接会に、「ひとり親就業支援の相談会」として相談ブースを設置している。相談ブースでは、母子・父子自立支援員、就業支援専門員が相談受付を行い、個々のニーズに応じた就業支援の相談（助成制度の説明等）を行っている。

### （1）三田市におけるひとり親支援の体制

三田市では、こども支援課がひとり親家庭支援に関する専管部署となっている。こども支援課には、主に保育園への入所手続き窓口となる「保育担当」、ひとり親相談のほか、児童手当・児童扶養手当等を扱う「こども福祉担当」、児童の生活習慣・しつけ・不登校・非行・虐待等に関する相談を扱う「家庭児童相談室」があり、ひとり親家庭支援時に連携が必要と考えられる部署が課内に集中しているため、各種支援策の横断的な検討や情報共有が行いやすい体制となっている。

ひとり親家庭の相談は庁舎内のこども支援課の相談カウンターで受付しており、内容に応じて個室相談室（3 室）を使用している。相談カウンター近くには子どもの遊び場となるスペースを用意し、個室相談室内におもちゃを用意する等、小さい子どもを連れていても相談がしやすい環境作りをしている。ひとり親家庭支援に関する職員体制は以下のとおりである。

○母子・父子自立支援員（常勤職員 2 名：行政職員が兼務）

○就業支援専門員（嘱託職員 1 名：平成 27 年 4 月より専任職員として配置）

母子・父子自立支援員、就業支援専門員が行った相談時の記録は電子的に管理している。相談内容にもよるが、相談に訪れた人には、定期的に電話による経過状況確認を実施している。

相談時に、法律や養育費等、専門性を要する事柄に関しては、兵庫県が実施している母子家庭等特別相談や一般市民向けの市の無料法律相談につなげることもある。

また、課内の関係者を含めたケース会議を週 1 回 1～2 時間程度開催している。ケース会議で支援方針を決定し、生活保護を担当する福祉総務課やハローワーク等の関係機関と連携しながら業務を行っている。

## 相談対応窓口や相談室の様子

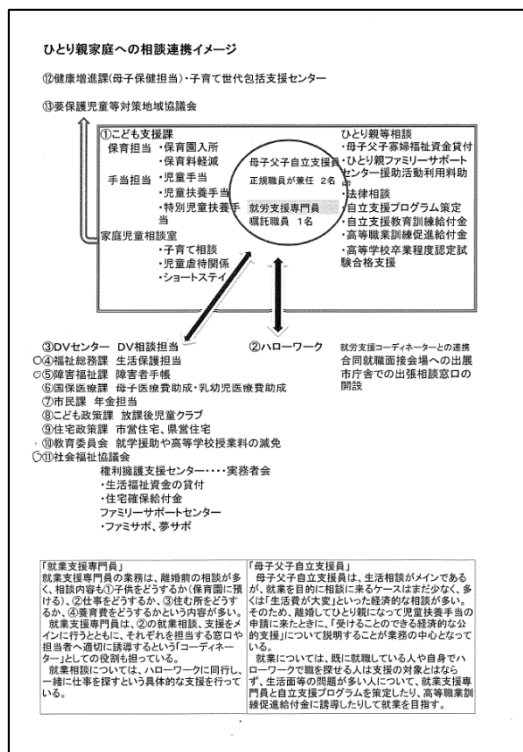
相談カウンター横の子どもの遊び場



個室相談室



## 三田市 ひとり親家庭への相談連携イメージ



出典) 三田市資料

## (2) 三田市ひとり親相談システムによる情報連携

こども支援課では、三田市ひとり親相談窓口強化事業の一環として、平成26年10月に、ひとり親相談管理システムの導入を行った。システム導入により、これまで紙帳票で管理蓄積されていた情報が電子化され、情報管理や情報共有においての利便性が向上した。このシステムは、こども支援課内の家庭児童相談室(18歳未満の児童に関する相談を担当)が使用していた家庭児童相談システムの機能を拡張したものであり、同じ環境のもとで、被虐待児童の情報と連携した一元管理が可能である。

また、三田市ひとり親相談管理システムは、市の住民基本台帳とも連動しており、台帳の更

新があった場合にシステムに最新情報を反映する事が可能である。それにより、ひとり親家庭の転居状況等を随時把握でき、こども支援課として今後どのように支援を行っていくか検討するための参考となっている。

### 三田市ひとり親相談管理システムの特徴

- ①家庭児童相談システムと同じインターフェイス（環境）で情報管理可能  
被虐待児童の情報と一元管理
  
- ②当事者情報管理
  - i. 基本情報の登録（勤務先情報、住宅、収入、財産、学歴、福祉サービス受給状況等）
  - ii. 家族情報画面から、児童などの世帯員へ画面遷移
  - iii. ジェノグラムの描画機能
  - iv. 基本情報を修正した場合、変更履歴へ保存
  - v. 電子データを添付資料として管理可能
  
- ③ひとり親相談管理
  - i. 相談基本情報の登録（ケース番号、受付日時、受付形態、ケース担当者、相談内容）
  - ii. 離婚前相談についての情報管理
  - iii. ひとり親となった理由、時期
  - iv. 関係機関の管理
  - v. 経過記録（日時、行動区分、対応者、支援内容、相談種別）
  - vi. 一時保護、施設入所状況
  
- ④業務帳票  
データベースからの出力機能として以下の機能を持つ
  - i. ひとり親世帯管理台帳（ジェノグラム付）の出力
  - ii. 経過記録の出力
  - iii. ひとり親相談受付簿の出力
  
- ⑤統計帳票  
業務支援、統計帳票の出力機能として以下の機能を持つ
  - i. 各種統計帳票の出力
  - ii. 月や期を指定した統計帳票の出力
  - iii. 統計帳票の内訳明細出力

出典）三田市資料より作成

### (3) ハローワークと連携した就業支援

毎年8月の児童扶養手当の現況届提出時には庁舎内にハローワークの出張相談スペースを設置し、ハローワーク職員がひとり親の就業に関する相談を受付けている。出張相談スペースには、のぼりを立てイベント要素を加えたスペースの設計としている。

出張相談に関する周知は、ホームページでの広報に加え、現況届案内文書送付時にチラシを同封している。

また、三田市及びハローワーク三田が主催する合同就職面接会に、「ひとり親就業支援の相談会」として相談ブースを設置している。合同就職面接会の参加企業は、三田市・神戸市北区を就業場所とする企業であり、企業・事業所ごとのブースで個別相談・面談が行えるイベントである。

「ひとり親就業支援の相談会」のブースでは、母子・父子自立支援員、就業支援専門員が受付を行い、個々のニーズに応じた就業支援の相談（助成制度の説明等）を行っている。

#### 合同就職面接会の案内

**三田地域**

相談会同時開催

# 合同就職面接会

平成29年 **2月16日** (木)

**13:00~15:30**

(受付 12:30~15:00)

**参加企業 31社参加予定**

- 三田市・神戸市北区を就業場所とする事業所 (フルタイム求人、パート求人)
  - \* 一歳、平成29年3月高校・大学等卒業予定の方 (既卒3年以内の方を含む)が応募可能な求人もあります。
- 求人企業の採用担当者と直接面談できます。
- 参加企業名や求人番号については、三田市と兵庫労働局のホームページにも掲載予定(2月上旬)。  
<http://www.city.sanda.lg.jp>  
<http://hyogo-roudoukyoku.jstie.mhlw.go.jp>

**同時開催の相談会 (会場内)**

いずれも予約不要(13:00~15:30)

- 「さんだ若者サポートステーション」による相談会  
さんだ若者サポートステーションでの相談 (39歳までの方)
- 「兵庫県福祉人材センター」による相談会  
介護・福祉職希望者への個別相談
- 神戸新卒応援ハローワーク相談窓口  
大学等新卒、既卒者への個別相談
- ひとり親就業支援の相談会(三田市こども支援課)  
個々のニーズに応じた就業支援の相談 (助成制度の説明など)
- ひょうご・しごと情報広場による相談会  
キャリアカウンセリング  
職業興味検査

希望の春へ!



✓参加無料/事前申込不要  
✓何社でも応募OK  
✓採用担当者と即面接

※携行品  
履歴書(応募事業所分の複数枚をお持ちください)

**開催場所**



三田市まちづくり協働センター多目的ホール  
三田市駅前2番1号 キッピーモール6階  
JR、神戸電鉄「三田」駅より徒歩1分。駐車場あり。

[主催] ハローワーク三田、三田市  
 [共催] ひょうご・しごと情報広場、兵庫県社会福祉協議会、さんだ若者サポートステーション

【お問い合わせ】 ☎ 079-563-8609  
**ハローワーク三田** (平日8:30~17:15)

出典) 三田市資料

